

新たな時代がスタート!!

第六次富士市総合計画に基づき、令和4年度から富士市の新しい取組が始まります。そこで、新年度予算に計上された事業の中から、注目すべき事業を御紹介します。

総合体育館施設整備等に 99億4520万円で契約

スポーツ交流の推進に向け、宿泊業者等と連携し市外からの誘客を

2月定例会では、令和7年4月の供用開始に向けて、99億4520万円の契約案が可決されました。また、新年度予算には、実施設計や既存体育館解体を行うため、3億8012万円が計上されました。PFI※により、2つのアリーナやトレーニングルームなど、競技スポーツと生涯スポーツが両立する多機能型の総合体育館を整備します。

※PFIとは…
プライベート・ファイナンス・イニシアチブの頭文字を取ったもので、公共事業を行う際、安価で優れた公共サービスを提供するため、民間資金と民間ノウハウの活用により施設整備や維持管理・運営等を行う手法のことです。

令和4年2月9日
総務市民委員会協議会での質疑応答

問 建設には地元業者も携わっているのですか。

答 整備を行う特別目的会社の提案では、事業費の60%程度の仕事が地元業者に任せられることになっています。

総合計画での位置づけ

基本目標 2

「次代を担うひとを育むまち」

将来のまちの姿

「だれもが いつでも いつまでも
スポーツと文化に親しめるまち」

新 病院建設基金を創設

以前から検討されてきた市立中央病院の建て替えについて、2月定例会では、令和18年頃の開院を目標に基金を創設し、新年度予算には基金積立金3億円が計上されました。今後は検討・協議を重ね、具体的な構想を決定していく予定です。

総合計画での位置づけ

基本目標 3

「支え合い健やかに過ごせるまち」

将来のまちの姿

「安定した医療提供体制のもと
適切な医療が受けられるまち」

令和4年2月1日 全員協議会での質疑応答

問 大規模改修による長寿命化など、建て替え以外の検討はしましたか。

答 37年が経過し、設備等の老朽化に加え、現状の建物では求められる医療や病院機能に対応できないため、建て替えが必要と判断しました。

魅力あふれるまちなかで、にぎわい創出へ

富士駅北口の再整備事業では、令和10年供用開始を目指し、組合施行による再開発事業において、マンションや店舗などが入る複合ビルを建設します。また、市は、組合施行の再開発事業に合わせ、バス待合所やブック・アンド・カフェなどが入る公益施設を整備します。

富士市の玄関口にふさわしいにぎわいと魅力ある都市空間創出に向け、新年度は、駅前公益施設基本計画・設計などのために、3億2796万円を計上しました。



富士駅北口再整備事業 令和4年度は3億2796万円

総合計画での位置づけ

基本目標 7

「快適な暮らしを続けられるまち」

将来のまちの姿

「地域特性に応じた魅力あふれる
暮らしやすいまち」

令和4年2月7日
建設水道委員会協議会での質疑応答

問

駅前に高層マンションが建設される予定ですが、富士山の眺望に配慮された計画になっていますか。

答

マンションの配置計画は、施行者の協力により、駅からの富士山眺望を確保したものとされています。

令和4年度 各会計予算を可決

- <一般会計> 891億円
- <特別会計> 549億4375万2000円(国民健康保険事業ほか12会計)
- <企業会計> 333億 689万4000円(水道、公共下水道、病院の3事業会計)

